



白河内古墳石室内の壁画



第 2 号

平成9年4月1日発行
那珂町歴史民俗資料館
(那珂総合公園内)
戸崎428-2 ☎297-0080



鹿島神社の大助祭

(「あす」65号より) 社団法人 茨城県原子力協議会提供)

鹿島神社と大助祭

おおすけまつり

菅谷北の内(菅谷小学校前)にある鹿島神社は村社で、祭神は武甕槌命。大同年間(八〇六〜八〇九)、上菅谷の宮の池のほとりに創建されたと伝えられる。

約九百年前、源頼義が前九年の役のとき、この宮に勝利を祈り、帰途にそのお礼として鹿島明神と八幡大神を分祀して、菅(ちがや)の屋を寄進したという。これが「菅谷」の地名になったという伝説も残っている。

元禄九年(一六九六)、水戸藩二代藩主徳川光圀によって八幡宮が廃され、鹿島明神と称したが、安政四年(一八五七)九代藩主徳川斉昭が鹿島神宮(現鹿嶋市)から分霊し、神社を現在地に移して太刀一振りと、絹地に「鹿島大神宮」と親書した宝旗を奉納した。それ以来、神社の紋は徳川氏の葵紋が使用されている。

昭和六十二年八月には、遷宮百三十年記念祭が盛大に行われた。

鹿島神社の「大助祭」は、当地に遷宮以来の歴史をもち、別名「菅谷の提灯祭」として、珂北地方にかけて有名なお祭りの一つである。

大助祭のいわれは、「おたすけ」のなまったもので、昔、度々の東北征伐に若者と食糧を出して国土の平定に「おたすけ」した苦勞をしのび、平和

と五穀豊穡を祈願したことからきているという。

祭礼には、各町内から二〇〇〜三〇〇個の提灯をつけた山車が九台と、大笹竹に七つの提灯をつけた「七ッ雪洞」と呼ぶ竹を持ち、神社境内に日暮れから集合する。境内では、集合した山車の太助囃子の競演となり、耳を覆うほどである。社前では大かがり火をたき、神官が悪病退散・悪魔除けの祈禱をしたあと、神刀で四方を祓う。

この儀式が終わると、各町内の若者が七ッ雪洞で火を消す火伏せの儀が行われる。早く提灯が破れた町内に福が訪れるとされ、大笹竹の提灯はあつという間に破られて笹竹が宙を舞い、見物人は灰だらけになる。これが終わると、山車は囃子を奏でながら町内に帰る。

以前は毎年、八月十五日に行われていたが、種々の事情により昭和四十七年頃より三年に一度に改められた。昭和五十六年より「なかまつり」が町を挙げて行われ、そのメインイベントになっている。

資料館展示室には、四月より額田本後町の山車にかわって、大助祭で永年活躍した菅谷「上之町」の山車が展示されている。

館内展示品案内(2)

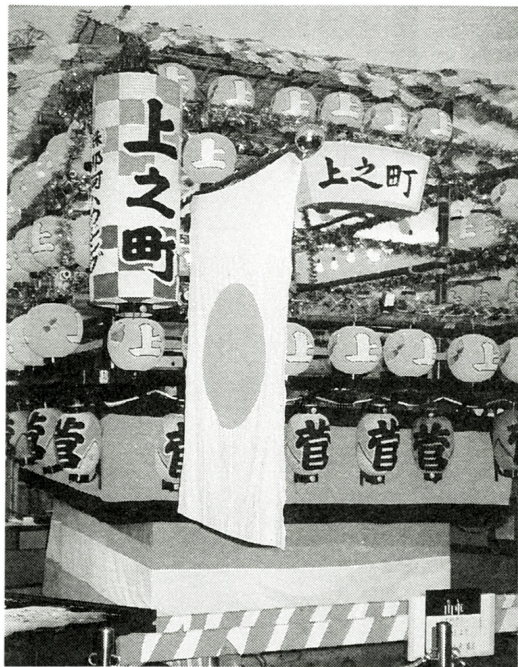
はじめての方のために館内展示品についてガイドいたします。現在の総展示品数は105点あり、土器出土品・古文書等は77点・写真・パネル・絵図等は28点です。

4 大助祭の山車

菅谷鹿島神社の大助祭(別名提灯祭)には、菅谷地区内より九台の山車がでます。そのうちの一つ上之町の山車が、この四月額田本後町の山車に代って展示されました。

上之町は、菅谷上宿一、二、三区および一の関区です。

この山車は、明治前期の製作と推定され、百年以上の伝統と歴史を有します。



菅谷上之町の山車

- 菅谷鹿島神社大助祭
- 額田通りばやし
- 門部のひよつとこ踊り
- 那珂太鼓
- 額田神社大祭礼屋台
- 山車出庫之図(大正9年4月)
- 北向地藏尊
- 百万遍珠数
- 萬奉殿

5 祭りと信仰

町内の神社の祭りや、庶民の信仰についてパネル・写真・実物で紹介しています。

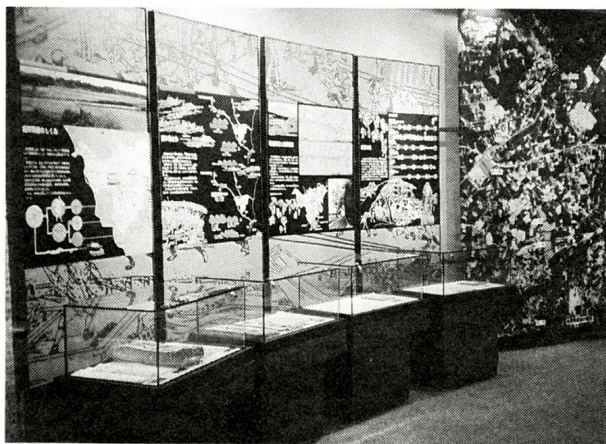


祭りと信仰コーナー

6 近世の産業・交通

このコーナーでは、江戸時代における那珂町の農作物をはじめ、新田開発・溜池・用水路・那珂川の舟運・旅と街道などをパネルと古文書で紹介しています。

- 那珂町の農作物
- 検地と新田開発
- 永田父子と用水路建設
- 溜池と用水路
- 庶民の旅
- 棚倉街道と南郷街道
- 積み荷と舟
- 河岸問屋のしくみ
- 天保年間水戸領図
- 農業用溜池の現況



近世の産業・交通コーナー

《特別企画展のお知らせ》

平成九年度の計画

『わが家の秘蔵品展』(仮称)

町民の方々が、家宝としているものや、歴史的・美術的なものの逸品を展示公開

● 会期 十一月(予定)

『那珂町の民話発刊記念展』

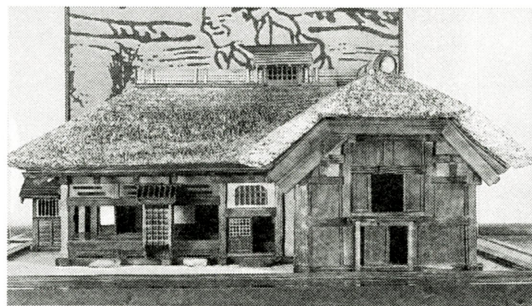
● 会期 十年二・三月頃

● 詳細については、後日なか広報等でお知らせいたします。

7 農家のくらし

町内にあった民家をモデルに、実物の1/25の大きさに、作られています。曲がり屋は二階作りで、物置、馬小屋、さらに囲炉裏も切っており、南部鉄瓶が下がっています。

また、これと同じ大きさの長屋門もあります。



曲がり付き民家(曲がり屋)

第2回特別企画展

「那珂町の絵馬展」開催される

—その形と意匠—

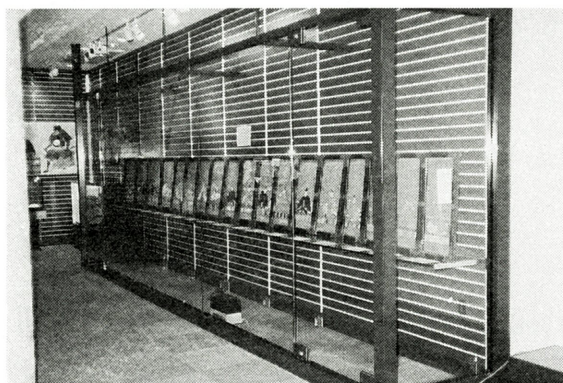
「那珂町の絵馬展」が、昨年10月1日から12月15日まで、2か月半にわたり歴史民俗資料館で開かれました。展示品は79点の大絵馬・小絵馬を町内の社寺のご協力をいただき公開することができました。

会期中の入館者数は、一八五八名(町内一〇七八名、町外七八〇名)でした。

記念講演会として茨城民俗学会代表理事 今瀬文也先生を講師に迎えて、実写スライドによるお話



絵馬展示会場



三十六歌仙絵馬

で、これも盛会裡に行われました。

会場には、町内十四か所の神社と寺に奉納

された大絵馬、小絵馬が展示され、多くの展覧者が訪れてくれました。

今回の特別企画展では、ふだん知られることの少ない文化財の魅力を見ることができた方、奉納された絵馬から昔の人々の願いや祈りが何であつたかを理解された方々など、多くの成果があつたことでしょう。

最後に、本企画展にご協力を頂いた皆様に厚くお礼を申し上げます。

展覧者の感想・意見

・全体的に素晴らしい絵馬であつた。特に25年も昔の元禄14年に奉納された七福神図が保存されていることには感銘した。七福神がこの間、音楽を奏でていたと思うとロマンが湧く歴史の勉強にしたいと思う。

(町内 男性 60代)

・町内にこのように貴重な絵馬があるなんて全く知らず、僅か一箇所で、こんなにたくさんさんの絵馬を見られるなんて幸せです。

(町文化財愛護協会員)

・素晴らしい企画でした。当町のもっている素晴らしい財産をほりおこし、ぜひ文化面の活性化につなげてください。

(町内 男性 50代)

・那珂町に絵馬を奉納出来る神社・お寺があるとは思いませんでした。昔の人は今と違い、神社・お寺が生活に密着していたのだと思います。

(町内 女性 40代)

▼資料館民俗資料寄贈品および寄贈者名(平成七年度分) 敬称略

● 広幅畦立器・手回し旋風機・マンガ(牛馬用)鋏(木・金属製)・係締付器・棹秤(五貫・二十貫)(飯田・小林茂)● ネコゴツヤグラ・角火鉢・田植用型付け器・水田除草機・葉タバコ畑巻上げ用万能(南酒出・稲田則昌)● 足踏み脱穀機(福田・吉原晃)● 水田代かき器(鴻巣・萩谷保)● 甘藷生切器・係締付器・軍服上下(後台・三田寺幸

・絵馬というと初詣の干支が描かれた物しか知らなかったもので、本来の意味は、色々な願いごとを祈願し、奉納する物である事を知り驚きました。

(町内 女性 30代)

・町の歴史の学び方にも色々ある事に改めて気が付き、大変勉強になった。

(町内 男性 50代)

・普段あまり気にしない絵馬も、こうして見ると一つ一つ味わいがあり、今度神社へ行った時には、注意して見ようと思った。また、保存も難しいだろうと思った。

(桂村 男性 30代)

・非常に参考になった。今まで色々な歴史書を読んで知った事例を眼前にした想いです。

(常陸太田市 男性 60代)

・三十六歌仙は、すばらしい宝物です。

(水戸市 男性 50代)

・絵馬をじっくり見るのは初めてでした。とてもすばらしいと思います。もっとたくさんの人々に見てもらえ

るよう宣伝したら良いのではと思います。(水戸市 男性 30代)

絵馬展ベスト5

●大絵馬

七福神図、馬の図、三馬図、神功皇后と武内宿弥図、天狗・烏天狗の図

●小絵馬

三十六歌仙・鳥居の図・翁の舞・阿弥陀如来像・襖の図

【出展協力社寺名・氏名】

(敬称略)

鹿島三嶋神社(後台)・三嶋神社(本米崎)・鷲神社(鴻巣)・筑波神社(飯田)・春日神社(福田)・駒形神社(南酒出)・鹿島神社(菅谷)・不動院(菅谷)・淡島神社(額田)・額田神社(額田)・一乗院(飯田)・鹿島神社(門部)・愛宕神社(門部)・息栖神社(中台)・長沼宏平(菅谷)

明)●宮参り用産着(東海村村松・大内幸枝)●表土入れ器・足踏み製縄器・係編み器・背負いしこ・草刈かこ・飼料粉碎器・堆肥篩・干いも切器・野良着・畦立て棒・二合半櫛・一斗櫛(門部・仲田義一)●農機写真パネル四枚(鴻巣・タイヤブラザ那珂)

(平成八年度分) 敬称略

●青年学校手帳・満蒙開拓義勇軍手帳・軍隊手牒・軍服上衣・義勇軍ズボ

資料館も開館四年目に入りました。今後、更に充実を図りたいと思いますので、町の歴史・民俗に関する資料等ございましたら、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

目安箱(アンケート)より

(1)展示コーナー別ベスト3

●舟形石棺と映像「水鳥が語る古代のロマン」のコーナー

●縄文・奈良・平安時代の土器・石器類のコーナー

●農家のくらし・曲がり付き民家・長屋門模型のコーナー

(2)入館者の感想・意見

●「水鳥が語る古代のロマン」は子供が大変気に入りました。このようなコーナーをもっと作っていただきたいと思います。曲がり付き民家の中にあかり(あんどん)がついていて大変気に入りました。(茨城町 主婦)

●那珂町の歴史が大変勉強になりました。学校で宿題にされていたので助かりました。それと入場料がタダなので

うれしかったです。(横堀 小学生)

●私は那珂町に住んでいる者ですが、自分の町にこんな素晴らしい歴史があったのかと思うと、びっくりしました。これからもっと詳しく那珂町の歴史について知りたいと思います。

(町内 保母)

●全体がコンパクトにまとまっている。那珂町の歴史がコンパクトに分かる。町としての資料館には良いのではと思う。

(某資料館員)

●こんな素晴らしい施設があることは那珂町の誇りです。私も住民の一人として広く宣伝したい気持ちで一杯です。

(菅谷 公務員・女性)

●設備が立派である。映像で説明しているので分かりやすい。

(日立市 会社員・男性)

●住んでいるすぐ近くに、こんなに多

くの遺跡があつて驚いた。民家の模型では小さい頃、住んでいた家や近所の家々を思い出した。(町内 無職)

●額田祭の山車が本物ときいてとてもびっくりしました。

(鴻巣 女子中学生)

●那珂町にこのような古い歴史があつたとは知りませんでした。昔は、海だったというのも興味深く感じました。人類の進歩とは何でしょう。

(水戸市 無職・男性)

(3)今後の企画展の希望

●那珂町の中世城館

●常陸佐竹氏の栄華と文化

●額田の達才とちくぬき話

●ひな人形展

●子どもの遊び今と昔

●那珂・久慈川風水害写真展

●農家のくらしの変遷

【町史等頒布について】

八年度から町史編さん室の委託をうけ、次の歴史・民俗資料等を頒布しております。ご希望の方は、当館事務室へお申込み下さい。

(1) 那珂町史(原始古代・自然環境編)

(2) " (中世・近世編)

(3) " (近代・現代編)

(4) 那珂町の考古学

(5) 那珂町の石仏・石塔写真集

(6) 那珂町の碑文

(7) 町史の研究第4号・第13号

(8) 特別企画展図録「那珂町の絵馬」

なお(1)～(7)の各冊子は、役場四階企画課でも頒布しております。

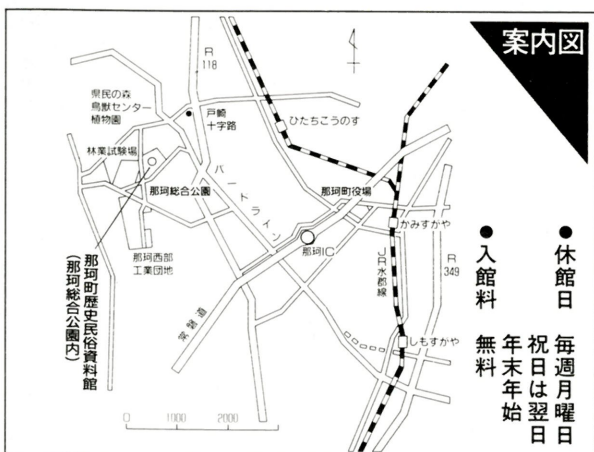
【編集後記】

水鳥第二号をお届けいたします。八年度は総合公園でNHKのど自慢大会や各種のスポーツ大会などが行われたため、入館者も増えました。特に「那珂町の絵馬展」がマスコミにもとりあげられ、多くの展覧者を数えました。町内小学校三年生の社会科学習で、五台小・菅谷西小・芳野小が来館し、学習の成果を寄せてくれました。五台小は、かべ新聞と作文。菅谷西小は寄せ書。芳野小は29人の見学記等をいただきました。玄関ホールに展示してありますので、来館の折にぜひご覧下さい。町民の皆様のご来館を心からお待ちしております。

【事務局N・Y・T】

月	開館 日数	入館者数		団体入館者等
		総数	町内	町外
4	25	453	338	115
5	27	660	353	307
6	26	383	199	184
7	26	257	111	146
8	24	564	320	244
9	25	264	143	121
10	26	851	620	231
11	26	766	297	469
12	22	278	186	92
1	23	188	64	124
2	24	186	50	136
3	26	352	197	155
計	300	5202	2878	2324

延入館者(累計) 17680名 H6.5.24 開館



案内図

●入館料 無料

●休館日 毎週月曜日

祝日は翌日

年末年始

無休